

下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議

第4回 議事次第

日 時:平成24年11月14日(水)
午後3時～

開始場所:龍谷大学 清風館B101

1 開会

2 議題

- (1) 第3回検討会議のワークショップのまとめ
- (2) まちあるきの進め方について

3 第3回まちあるき(エリア東部)

- (1) 龍谷大学大宮学舎
- (2) 西本願寺(本願寺)
- (3) 龍谷ミュージアム
- (4) 東本願寺(真宗本廟)
- (5) 京都駅ビル

4 閉会

<配付資料>

- 資料1 委員名簿
- 資料2 座席表
- 資料3 まちあるきの進め方について
- 資料4 まちあるきコース素案
- 資料5 第3回検討会議(第2回まちあるき)ワークショップのまとめ

委員名簿

(五十音順, 敬称略)

	団体名	役職名	氏名
座長	コミュニティデザイン研究室 同志社大学大学院総合政策科学研究科	代表 嘱託講師	谷口 知弘
	梅小路活性化委員会	委員長	市村 勝
	大阪ガス (株)	京滋地区副支配人 コミュニティ室長	服部 博一
	オリックス不動産 (株)	京都水族館支配人	升本 忠宏
	京都駅ビル開発 (株)	取締役営業部長	奈倉 宏治
	京都市	下京区長	山本 耕治
	京都市	総合企画局政策企画室長	柴山 薫
	(公社) 京都市観光協会	事務局長	山崎 晶子
	(公財) 京都市景観・まちづくりセンター	事務局次長	齒黒 健夫
	京都市中央卸売市場協会	専務理事	北島 誠一
	京都市中央卸売市場第一市場	次長	林 眞佐男
	京都商工会議所	産業振興部まちづくり推進担当課長	外池 順一
	(公財) 京都市都市緑化協会	専務理事	北村 康二
	(特活) 京都・地球みらい機構	常務理事	高梨 日出夫
	京都府旅行業協同組合	理事長	山本 芳孝
	京都リサーチパーク (株)	営業開発部長	鈴川 和哉
	自治連合会 (大内自治連合会)	会長	中辻 正次
	自治連合会 (七条自治連合会)	会長	西村 為彦
	浄土真宗本願寺派 (西本願寺)	宗務所所務部<文書担当>課長・総長秘書	中井 真人
	真宗大谷派 (東本願寺)	宗務所総務部次長	徳永 誠
	(公財) 角屋保存会	理事長	中川 清生
	西日本旅客鉄道 (株) (JR 西日本)	近畿統括本部京都支社総務企画課 (地域共生) 担当課長	平野 剛
	(学) 龍谷大学	学長室課長	花崎 正順
	龍谷ミュージアム	事務部次長	太田 功

「下京区西部エリア活性化」ワーキング・グループ会議 構成メンバー

所属	職名	氏名	備考
総合企画局	政策企画室長	柴山 薫	リーダー
産業観光局	商工部長	山本 達夫	サブリーダー
建設局	緑化推進・梅小路 公園再整備担当部長	大西 功	サブリーダー
下京区	地域力推進室長	松森 敏郎	サブリーダー

文化市民局	地域づくり推進課長	籾 哲也	
産業観光局	産業政策課長	原 昭彦	
	商業振興課長	小山 幸司郎	
	中央卸売市場第一市場 次長	林 眞佐男	
	産業振興課長	武田 淳	
	観光おもてなし課長	砂川 敬	
都市計画局	都市づくり推進課長	西村 健	
	都市計画課 調整担当課長	中西 朗	
	歩くまち京都推進室 企画課長	大井 貴之	
建設局	建設企画課長	福田 敏男	
	緑政課梅小路公園 再整備担当課長	的場 靖史	
下京区	総務・防災課長	藤本 信和	
	まちづくり推進課長	西山 圭児	
交通局	総務課長	西山 真司	
総合企画局	政策企画課長	西窪 一	事務局

平成24年10月1日現在

座席表①（龍谷大学）

谷口座長

事務局

グループ①

グループ②

グループ③

グループ④

くじ引きで分けたグループごとにお座りいただきます。

傍聴席及び記者席

座席表②（下京区役所）

グループ①

グループ②

グループ③

グループ④

まちあるきの進め方について

目的

- 全員で、エリアの魅力と課題を共有する。
 - ⇒ 全員で、同じコースを歩きます。
- 梅小路公園を中心にエリア全体を丁寧に歩いて、気づきを深める。
 - ⇒ 全3回のまちあるきを通して（今回は3回目・各回のエリアは別図参照）、エリア内を丁寧に見て回るとともに、エリア全体の規模を体験します。
- エリアの魅力だけでなく、残念な点も見つける。
 - ⇒ プラスを伸ばし、マイナスをプラスに変えることができれば、エリアの魅力アップにつながります。

「何もない」
「歩きにくい」ことも
見どころです

視点

- 各スポットの魅力と課題
 - ⇒ 今回は龍谷大学大宮学舎、西本願寺（本願寺）、龍谷ミュージアム、東本願寺（真宗本廟）、京都駅ビル
- スポット間の共通点と相違点
 - ⇒ 利用者層・繁忙期等の共通点・相違点がないか？
 - ⇒ 相乗効果・ミスマッチの解消が図れないか？
- 互いの行き来のしやすさ・歩きやすさと交通アクセス
 - ⇒ 互いに行き来がしやすいか？ それをしやすいするためには？
 - ⇒ 外から来た人は、どこから来て、どこへ向かうか？

今後のまちあるきを
通してチェックします

皆様の御協力

- 各スポットに関係される委員の方々にレクチャーを依頼
 - ⇒ エリア内の主要スポットを一通り網羅するとともに、委員の皆様にもまちあるきの企画に御協力をお願いしております。
- 龍谷大学様の御協力を得て、大学生も参加
 - ⇒ 若い皆様のまちの見方も参考とさせていただきます。
- 京都市職員（下京区西部エリアの活性化ワーキング・グループ会議）も参加

「第3回検討会議～まちあるき（第2回）～」のワークショップまとめ

<梅小路蒸気機関車館>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入口を入ったらワクワク感が出てきた。 ・ 親子連れが多い。親子3世代で楽しめる。 ・ 旧二条駅を移築した趣のある駅舎。 ・ 歴史ある展示物。D51 一号機など、歴史的価値大。 ・ 懐かしさ、ロマンがある。 ・ 実物の機関車の魅力と迫力。本物の迫力。 ・ 鉄道ファン／マニアや、子どもたちにはたまらない。 ・ 鉄道ファンならずとも魅力的なスペースで、リピートが期待できる。 ・ 目新しい機関車が見られた。 ・ 説明があると、とてもわかりやすく、いつもとは違う楽しみ方があった。 ・ 大迫力の動く機内やターンテーブル等、見どころがたくさん。 ・ 蒸気機関車が常時運転されていること。 ・ オンリーワンの施設。 ・ 公園内の立地。 ・ SLの動体保存は素晴らしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入口がわかりにくい。 ・ 京都駅からのアクセスが悪い。 ・ 七条通りを歩いていて「蒸気機関車館がある」ことが分からない。 ・ 公園の西端にあり、行きづらい。東側入り口からの誘導が不足している。（機関車のモニュメントなど） ・ 梅小路公園からのアプローチ部分の工夫が欲しい。 ・ もっと開放的でゆっくり、くつろいで見学できるスペースが欲しい。 ・ 売店を明るくきれいに。 ・ 建築を活かしきれていない。 ・ 「蒸気機関車館」と「水族館」・・・「公園」をどのように連携？ ・ マニアには面白いが、一般向けの説明が欲しい。 ・ 一人では来づらい。 ・ 鉄道グッズの充実があると良い。 ・ 展示説明が少し大人対象であり、説明されないとわからない展示がある⇒キャプションを充実して欲しい。 ・ 案内ボランティアを育成して、しっかりした説明をしてほしい ・ もっと知らせるべきモノ、ストーリーがあるはず。

<梅小路公園>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ いのちの森や緑が多い。街中における広大な緑。 ・ 人も増えた。 ・ 五重塔、新幹線が見られた。 ・ とにかく広さが魅力。走り回ることが子どもにとっては嬉しいこと。 ・ 人が多く集まることができる。（子供からお年寄り、散歩（犬）まで楽しめる。） ・ 喫煙ブースがある。 ・ イベントが増えてにぎわいがある。 ・ 広くて開放感があり、ほっこりできる。 ・ ゆったりとあらゆる世代が憩えるスペース。 ・ 公園や、花も手入れがよく出来ている。 ・ 広場は休日には家族づれでも楽しめて魅力。 ・ 園内の自販機が周囲と調和している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節ごとに楽しめるよう草花なども増やせば面白いと思う。 ・ 公園でのイベントをもっとPRした方がよい。 ・ 広場、芝生。森にしてみても？ ・ 芝生広場以外が使いきれていない。 ・ 自転車が危ない。 ・ アクセスが悪い。 ・ 道が歩きにくい。ブロック部分、とくにベビーカーは通行しにくい。 ・ 公園内の自販機が、景観面でも、エコロジーの観点からも残念。 ・ 自販機の規制が必要。 ・ 売店・食事処、休憩所が公園内に欲しい（座って緑をながめる場所が欲しい）。 ・ いのちの森はうっそうとしていて入りにくい。 ・ 水族館の通り道となっているようにも感じられる。 ・ 公園までの交通の便、駐車場が不足しているように感じられる。 ・ PR 不足。京都市民も知らない人が多い。 ・ 京都駅での案内不足。

<京都水族館>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市の新たな観光資源。楽しく、集客力がある。 ・ バリアフリー。 ・ 休憩所がところどころにある。 ・ 入口（エントランス）がとてもキレイ。 ・ 建物の建て方もよく工夫されている。 ・ コンパクトで楽しそう。適当な規模でかつ新たな発見がある。スポットごとに楽しめる。 ・ 大きさ、歩く時間の長さなど、小さい子供を連れて歩くにはすべてちょうどよい感じ。 ・ 開館当時より魚の種類が増えたように思う。 ・ 今まで知らなかった魚が数多く見られた。 ・ 魚など見やすい工夫がされてある。 ・ 淡水魚、イルカ、サンショウウオ、クラゲ希少生物など特色のある展示内容。 ・ 食材と関連した展示がユニーク。 ・ 水槽の視線が低く、子供も十分に楽しめる雰囲気。見せ方が工夫されている。 ・ 展示1つ1つが見やすいので、魚や生き物がどんな形をしているのかがわかりやすい。 ・ 水族館から見る公園の緑が素晴らしい。 ・ イルカショー。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声案内などが無い。 ・ 魚の写真だけで解説や英語の説明がない（生息場所など）。 ・ 説明スタッフをもっと利用すればよいのでは？ ・ 少し手狭な感じがする。来館者が多いときはちょっとつらい。 ・ いつきても混んでおり、ゆっくり楽しめない。 ・ 里山ゾーンは、もう少し規模が大きいほうがよい。 ・ メッセージ性が薄い。 ・ 目玉がない。 ・ 食事スペースに乏しい。 ・ エリアの顔としての施設をどのように利活用するか？単独ではなく連携へ。 ・ 『京都』の強い魅力、地元「下京」を生かしたソフトがないのでは？ ・ 「水族館」、「公園」、「機関車館」をつなぐテーマが無い。 ・ エントランスが狭い。 ・ 人気が続くように工夫をしてほしい。何度も見ているから変化がほしい。 ・ あの集客力を「街」でいかせないか？

< 嶋原商店街 >

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ、タバコの吸い殻がない。 ・ 地元の住民と密着している ・ 昔ながらの、昭和のレトロ感漂う商店が魅力（食堂、おもちゃ屋、和菓子屋など）。 ・ 歴史がある。歴史を感じる ・ ぱっと見るとわからないが、意外と多くの店があり、おもしろい店もたくさんある。 ・ 地元の高齢者にとっては大切な場所になっている。 ・ なじみやすく、あたたかい雰囲気を感じた。 ・ なつかしい、昔を思い出す。落ち着く。 ・ 街灯がある。活かさないか。 ・ 門前町として特徴のある店舗があることに気付いた。 ・ 旅館や外国人向けの宿泊施設があり、地域の人以外の顧客がありそうだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通の便が悪い。 ・ 車通りで危険。歩くための環境づくり。 ・ 歩道の整備をする。 ・ 目玉になる様な何かを！ ・ 人を引き付ける店、飲食が少ないので人が通るだけになっている。 ・ 閉まっている店、住んでいない家があることにより、楽しさよりも寂しい印象。暗く、活気がない。 ・ 商店街の風景が中途半端な感じ。古き良き時代を大切にする古い玩具屋とか菓子舗を活かして、もっと昭和レトロに出来れば面白い。 ・ 店舗数が少ない。活性化してほしい。 ・ 呼び込むターゲットが明確だろうか？ 誰に来てもらいたいのか、はっきりしていない。 ・ スーパーにも負けない魅力の掘り起こしが必要。 ・ 大通りからお客（観光客・外部の人）を巻き込み、呼び込むアイデア、観光客を引きこむ工夫が必要。 ・ マンションは違和感がある。統一された幕やのれんなどが並ぶと一体感がでるのでは。 ・ 古い建物の外観を復活し、街並みを充実させる。 ・ 電線が見苦しい ・ 新たな店舗がほとんどない。チャレンジショップを導入しては？ ・ 商店街どうし、各店舗の協力が必要。 ・ 水族館の集客を生かそうという工夫があまり感じられず、少し残念。 ・ 梅小路や角屋さんとのつながりが薄い。

<角屋・島原地区>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 角屋、歴史、貴重な文化財の魅力大でとても良い。 ・ 大門や石畳の雰囲気が良い。 ・ 門をくぐれば昔がある街。 ・ 門が見どころ。 ・ 入ってビックリ。ロマンあふれる空間であった。 ・ 京都の花街について学べる貴重な場所。 ・ “もてなし”は京都のKeyword。そのシンボルとしての角屋さんという位置づけ。 ・ 味わいのある建築物が多く、感嘆した。 ・ ここだけ見てもすばらしい施設であり、歴史、風俗を実際に見学し、身につけられる。 ・ ストーリー、エピソードが充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ せっかくの角屋の良さに、町を歩いていても気付けない。 ・ 周りの住宅街との調和が難しい。 ・ 嶋原商店街と島原地区のつながりが見えない。 ・ 交通の便が悪い。 ・ 揚屋で遊べるならよい（体験型）。 ・ アクセス方法がわからない（何番のバスに乗ったらいいのか？） ・ 価値を伝えるしくみ。 ・ 場所が分かりにくい。 ・ 暗い。 ・ 見ごたえ充分にしては、余り知られていない。 ・ 地域内にも知られていない。 ・ PR 不足。 ・ 古いまちなみを大切にすれば、人が来るようになるのでは？ ・ 若者を引き付ける魅力を何か出せないか？ ・ 今風の民家が多く、街並みが雑然としている。 ・ 新撰組と建物の関連について、もう少し分かりやすい説明があったらよいのでは？ ・ 年中開館ではない、年間を通してオープンできないか。 ・ 門、角屋さん以外に見どころが見つからなかった。 ・ 若い世代にアピールできるか？ ・ 角屋の周りがあまりに“現代的”で、残念だ。 ・ より広く、多くの方に存在を知らせる工夫が必要。

<全体・その他のエリア>

魅力	課題（改善ポイント）
<ul style="list-style-type: none"> ・ あちこちにチラシが置かれていて、地域内のお互いの施設をPRしあっている。 ・ キーワードは“もてなし”。 ・ 現在（水族館）、近代（SL 館）、過去（島原、角屋）いろいろな時代を体感できる。 ・ 蒸気機関車館、水族館、角屋など、時代を通したミュージアム・ツアーを作ってはどうか。 ・ 一連の施設を周遊するコースマップやセット割引があれば、地域の活性化につながるのでは。 ・ 今日のエリアは歩いて20分程度であるから、ルートとしてつながりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回遊を促す仕掛けが無い。 ・ 巡回できる遊歩道が欲しい ・ 西本願寺→角屋さんへの道中を楽しくできないか。 ・ トイレの数が不足している。 ・ 千本通りに安全な歩道 ・ 連携のイメージ？ ・ ポイント、ポイントは楽しいが、道中が楽しくない。 ・ 市場の食育ポイント？ ・ 休憩できて食べられるポイントが必要。 ・ 新しいイメージの繋がりをどうつくるか。 ・ エリアとして、どう捉えるかという方向性の検討が必要。 ・ エリア全体として、余り知られていない。認知されていない。 ・ まず地元の人を知ることが大切 ・ 個々の施設は魅力があるが、それらを繋ぐ動線が整備されていない。 ・ 梅小路公園と地域の一体性が見られないと感じる。 ・ 新しい人の流れが、地域全体にとっての顧客になっていない。